

山梨大学における入学者選抜改革の取組

「2020 年度以降の入学者選抜の基本方針」  
(第 2 報)

2018 年 10 月 31 日

山 梨 大 学



## はじめに

山梨大学では、本年 7 月 30 日付で、2020 年度以降の入学者選抜に関し、以下の事項について、その概略をお知らせしました。

1. 大学入学共通テストの出題教科・科目、記述式問題の活用方法
2. 英語認定試験の取り扱い
3. 個別学力検査等において提出を要する書類と一般選抜以外の選抜方法等
4. 各学部の入学者選抜における出題教科・科目と提出書類等

上記各事項についても今後、詳細が確定次第お知らせしてまいります。今回は特に、以下の事項についてお知らせいたします。

1. 入学者選抜における多面的・総合的な評価を実現するための本学の基本的な考え方
2. 各学部における入学者選抜改革の特徴
3. 個別学力検査等において提出を要する書類の詳細（7 月 30 日の告知内容の具体化）

なお、今回お知らせした内容以外の本学および各学部・学科等の入学者選抜制度の具体的な内容については、2019 年 3 月、7 月を目処に順次公表していく予定です。

### 1. 多面的・総合的な評価を実現するために

本学では「学力の 3 要素」を多面的・総合的に評価するために、アドミッション・ポリシーを見直し、その具体化を図るために、次のような改革を実施することとします。

#### ○アドミッション・ポリシーに基づき「学力の 3 要素」を多面的・総合的に評価する入学者選抜への改善

「学力の 3 要素」を多面的・総合的に評価するために、大学独自の多面的評価軸として表 1 のように「特性評価」「学力評価」「適性評価」を設定し、入試制度設計を行っています。その上で、表 2 のような多様な評価方法を用いて総合的な評価により選抜を行うこととします。

表 1 学力の 3 要素と多面的評価の関係（概要を示したもので、各学部等により違いがあります）

分類	内 容 (AP：アドミッション・ポリシー)	知識・技能	思考力・判断 力・表現力	主体性・多様 性・協働性
特性評価	AP に示した求める能力・人物像等を規準として特性を評価します。	●		●
学力評価	AP に示した「入学前に学習しておく内容」の定着や、修学に必要な学力などを大学入学共通テストや独自の個別試験により評価します。	●	●	
適性評価	AP に示した育成目標を実現できる資質・能力や適性を評価します。		●	●

表2 多面的評価と総合的な評価（選抜方法）との関係（概要を示したもので、各学部等により違いがあります）

	特性評価	学力評価	適性評価
調査書	●	●	●
多面的・総合的な評価のための申告書	●		●
活動実績報告書（教育学部）			●
学校長推薦書（学校推薦型選抜）	●		
志願者評価書（総合型選抜）	●		
大学入学共通テスト		●	
本学が指定する教科・科目による学力検査		●	
小論文		●	●
集団面接	●		●
面接（口頭試問を含む）	●		●
実技		●	●
その他			

### ○学力の評価を十分に行う入学者選抜の改善

一般選抜では、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を適切に評価するために、全受験生に大学入学共通テストと英語認定試験を課し、個別学力検査等においても、本学が指定する教科・科目による学力検査、小論文などの記述式問題の導入・充実に向けて取り組むこととします。同様に、総合型選抜・学校推薦型選抜では、学部・学科ごとに大学入学共通テスト、または本学が指定する教科・科目による学力検査や小論文を課すこととし、学力の評価を十分に行うことができるよう改善します。

## 2. 各学部における大学入学者選抜改革の特徴

### ○教育学部

教員養成の観点から、これまで以上に強く教員を志望する学生を受け入れる選抜方法を検討してきました。その結果、基礎学力と明確な志望の動機を有する学生を求めることとし、すべての受験者に対して「多面的・総合的な評価のための申告書」の提出を課し、高校3年間の成長と大学での学びの意欲を自らの言葉で記載することを求め、選抜の柱とします。また、一般選抜においては、英語認定試験を必須とすることにより、教育現場でのグローバル化に対応します。さらに、前期試験においては、全受験者に対して集団面接を課し、教員としての適性を評価することとします。

### ○医学部

これまでの入試選抜方法を継続・発展させることを主眼に置きつつ、多面的・総合的な評価方法を意識した制度設計を行います。医学部においては、全ての試験区分において従来どおり面接試験を実施します。看護学科においては、前期試験で小論文により論理的な思考力や表現力を評価し、また、後期試験及び学校推薦型選抜では、「多面的・総合的な評価のための申告書」に記載されている内容等から、適性などを評価して選抜を行います。医学科においては、学校推薦型選抜として地域枠を継続して地域医療の担い手を養成することとし、また、後期試験では、これまで同様に学力に重点を置いた入試を行うこととしました。さらに、医学部では看護学科推薦型選抜を除く各試験区分において英語認定試験を活用します。

## ○工学部

一般選抜において、前期試験は共通テストと個別学力検査を課す学力重視の入試を行うこととし、後期試験は「多面的・総合的な評価のための申告書」の提出に加え、面接を課すことで多様な資質能力を有した学生を求めるバランスを重視した入試を設計します。また、英語認定試験を活用することで、英語の運用能力も評価します。さらに、共通テストを課さない総合型選抜Ⅰと共通テストを課す総合型選抜Ⅱを実施し、さまざまな選抜方法や入試科目を課すことで、学部内に多様な資質・能力を有する人材が集うことをめざした入試を実施します。

## ○生命環境学部

学力の3要素である「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」について総合的に評価を行います。

そこで、大学入学共通テストにより教科・科目に係る基礎学力を評価するとともに、志願者が提出する2つの書類（「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」）の記載内容を評価します。

前期個別学力検査では、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価するために新たに小論文を実施します。小論文では、日本語や英文の理解と論述、図表などで示されたデータの分析等に関する総合的な設問がなされます。後期個別学力検査では、面接を実施しアドミッション・ポリシーへの適性を評価します。総合型選抜Ⅱでは、「志願者評価書」の記載内容を評価するとともに、面接を実施してアドミッション・ポリシーに適合した学力の3要素を身に付けているかを総合的に評価します。

### 3. 個別学力検査等において提出を要する書類等

本学では、アドミッション・ポリシーに基づき求める人物像や能力などを踏まえ、高等学校における学習活動や課外活動などの実績及び学習意欲等を含めた学力試験によって測ることのできない資質・能力や態度をより適切に評価するために、表3に示す書類の提出を求めます。

なお、各学科等により、表3に示す以外に、「活動実績報告書」や「面接用事前レポート」、「誓約書」等を課す場合があります。

**表3 提出を要する書類等**

提出書類	選抜方法		作成者
調査書	全ての入試区分		学校長
多面的・総合的な評価のための申告書	教育学部	全ての入試区分	志願者本人
	医学部	一般選抜後期日程（看護） 学校推薦型選抜	
	工学部	一般選抜後期日程 総合型選抜	
	生命環境学部	全ての入試区分	
学校長推薦書	教育学部、医学部の学校推薦型選抜		学校長
志願者評価書	生命環境学部、工学部（一部）の総合型選抜		学校長

### ○多面的・総合的な評価のための申告書

入学志願者本人が記載する提出書類の多様化やその内容の充実を図るために、「多面的・総合的な評価のための申告書」の提出を課すこととします。本申告書は、「活動報告書」と「大学入学希望理由書」、「学修計画書」の3つの要素を含んだ書式・内容であり、本学への志願者に関する多面的な情報が提供されることを目的としています。同時に、志願者が大学で学ぶ目的を見つめなおし、自らの進路について主体的に考える機会を設け、大学での学修への意欲を高めるために課すものです。

また、本申告書だけでなく、調査書、大学入学共通テスト、個別学力試験等の様々な観点から総合的に評価を行うための基礎資料として活用する予定です。必ず志願者本人が作成し、記載内容において調査書等の提出書類との整合性が保たれていることが求められます。

### ○志願者評価書

総合型選抜において、多面的・総合的な評価のための基礎資料として、本人の学修や活動の成果を踏まえた「学力の3要素」に関する志願者評価書の提出を課すこととします。学校長による推薦を目的とした推薦書とは異なり、調査書を補完し、学力の3要素に関するより詳細な志願者の情報を把握することを目的としています。その記載内容に基づき、特性評価、適性評価等に関してより丁寧な多面的・総合的な評価を実施します。

《書式参考例示》

多面的・総合的な評価のための申告書

志望学科・コース	氏名	学校名	*受験番号 この欄は記入不要

この申告書は、入試選抜において多面的・総合的な評価をするためのものです。  
志望学科・コースのアドミッション・ポリシーを参考にして記述してください。

高校入学から現在までの諸活動の記録とそこから学んだこと

- (1) これまでの学校内外の活動（ホームルーム活動、生徒会活動、部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等）の取組、資格の取得など、主な活動実績をできるだけ具体的に記載してください。
- (2) 上記（1）から学んだことを記載してください。

志望理由と、入学後に学びたい内容とその計画、大学卒業後を見据えた目標など

- (1) 上記学科・コースを志望する理由を具体的かつ明確に記入してください。
- (2) 大学では何を学び、それを卒業後の人生でどう活かしたいと考えているか記入してください。

※今回示すものは、例示であって、今後変更される場合があります。



《書式参考例示》

志願者評価書

山梨大学学長 殿

学校名 \_\_\_\_\_

学校長名 \_\_\_\_\_ 印

下記の者を、貴学の総合型選抜入試志願者として責任をもって評価します。

志願者氏名等

氏名	生年月日 年 月 日	年 月 卒業（修了）見込み
----	---------------	------------------

志望学部など

志望学部	学部	志望学科	学科
------	----	------	----

【「知識・技能」に関する所見】

.....  
.....  
.....

【「思考力・判断力・表現力」に関する所見】

.....  
.....  
.....

【「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する所見】

.....  
.....  
.....

求める学生像（アドミッションポリシー）からみて、志願者に関して特記事項があれば具体的に記載してください。

.....  
.....  
.....  
.....

記載者： \_\_\_\_\_ (志願者との関係) \_\_\_\_\_

※今回示すものは、例示であって、今後変更される場合があります。

問合せ先  
山梨大学アドミッションセンター  
TEL 055-220-8191 (鈴木) ・ 8265 (藤)